

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	5-3-2		事業名	図書館サービス網の拡充		
担当	教育委員会中央図書館管理課 西邑 Tel.512-7330 教育委員会中央図書館業務課 新海 Tel.512-7320					
全 体 計 画						
事 業 内 容	1 図書館サービス網の整備 図書館サービスの充実と向上を図るため、図書館施設のネットワーク化を進める。  2 インターネット予約システムの整備 パソコン・携帯電話を利用して図書館に来館することなく借りたい資料を予約できるインターネット予約システムを構築し、市民が図書館資料をインターネットでいつでもどこでも予約することを可能にする。		<b>&lt;年度別の事業内容&gt;</b> 1 図書館サービス網の整備 (平成19年度) 北区で所管していた篠路コミュニティセンター図書室を中央図書館のネットワークへ組み入れるため図書資料のデータ化、図書館端末の設置等を行い、利用者が全市の図書館資料を利用できるようにする。 (平成20年度) 4月にオープンする里塚・美しが丘地区センターの受付カウンターに、予約・貸出ができる図書館端末を設置する。  2 インターネット予約システムの整備 平成19年度中に基本システムの開発を終え、平成20年夏頃の運用に向け業務の見直し等準備を進める。			
事 業 内 容 ・ 量 ・ 場 所 ・ 規 模 ・ 件 数 等	<b>平成19年度事業内容(決算)</b>  1 図書館サービス網の整備(4,044千円) (1) 里塚・美しが丘地区センター図書カウンター(140千円) 里塚・美しが丘地区センターに図書館端末1台、利用者用検索機1台を設置し、図書館の資料を予約・貸出ができる図書カウンターを設置する。  (2) 篠路コミュニティセンター図書室(3,904千円) 図書約14,800冊のデータ化及び図書館端末2台、利用者用検索機1台を設置したほか、利用環境の向上のため、書架やカウンター、サイン等を更新した。  2 インターネット予約システムの整備(28,151千円)	<b>平成20年度事業内容(決算)</b>  2 インターネット予約システムの実施 平成20年8月よりインターネット予約を開始し、さらに11月からは、視聴覚資料についてもインターネットからの予約を可能とした。 その結果、資料の年間予約件数が前年比約1.6倍となった。				
	<b>平成21年度事業内容(決算)</b>  1 生涯学習センター「ちえりあ」への図書館のサービスポイントの設置 札幌市図書館ビジョンの生涯学習センターとの連携強化及び図書館サービス網の整備に基づき、生涯学習センター内にサービスポイントを設置した。(予算については、教育委員会の既往予算の中で実施した。)	<b>平成22年度事業内容(決算)</b>  第2次新まちづくり計画で掲げた図書館サービス網及びインターネット予約システムの整備が完了し、今後は図書館サービス網、図書館電算システムの安定的運用に取り組んでいく。				

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	5-3-2		事業名	図書館サービス網の拡充			
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)	
ネットワークへの組み入れ箇所数	38カ所	39カ所	40カ所	41カ所	41カ所	40カ所 (19年度)	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 住民によるワークショップからの要望として、貸出・返却等のできる図書館のカウンターの設置が提案され、中央図書館において検討した結果、図書館端末機と利用者検索機の設置を行った。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] (該当なし) [人材協力] (該当なし) [情報協力] (該当なし) [その他の協力] (該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)</p>							
評価(成果)				課題			
<p>1 平成19年度に、北区で所管していた篠路コミュニティセンター図書室を中央図書館のネットワークへ組み入れたことにより、利用者が、全市の図書館資料を利用できるようになった。さらに、利用者用検索機の導入により、利用者自らが検索や予約ができるようになり利便性が向上した。</p> <p>2 平成20年4月にオープンした、里塚・美しが丘地区センターは、施設の受付カウンターに図書館端末を設置し、さらに利用者用検索機を導入したことにより、予約・貸出等が行えるサービスポイントとして、市民の利便性が向上した。</p> <p>3 市民要望の高かったインターネット予約を平成20年8月から実施し、さらに同年11月からは視聴覚資料についても、新たにインターネット予約の対象とした。この結果、平成21年3月期の予約件数は前年同月の1.98倍を、また平成20年度計でも前年比1.64倍と、当初の予想を大きく上回る結果となった。</p> <p>4 平成21年12月に生涯学習センター「ちえりあ」に地下鉄宮の沢駅周辺を利用圏とするサービスポイントとなる図書カウンターを開設し、市民の利便性が向上した。</p> <p>5 平成21年度までの図書館サービス網およびインターネット予約システムの整備完了を受け、平成22年度はその安定的運用に取り組んだ。</p>				<p>1 他部局で所管している図書施設と中央図書館サービス網との連携のあり方について検討が必要である。</p> <p>2 図書館電算システムの安定的運用と、検索環境の改善等利便性の向上が必要である。</p>			
今後の事業の予定・方向							
<p>1 他部局で所管している図書施設と図書館サービス網を連携させることにより、利用者の利便性を向上させる。</p> <p>2 図書館電算システムの安定的運用と利便性向上のため、システムの更新を図る。</p>							

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

(単位:千円)